

## レコードジャケットの補修

中古レコードのジャケットに汚れ・傷みは付き物です。また新品の再発盤のジャケットも使用しているうちに傷んでくることがあります。

本稿ではこうしたジャケットの補修方法をご紹介します。

まず補修対象です：

- 1 ジャケットの汚れ全般
- 2 背表紙の割れ・はがれ
- 3 ジャケット上部・下部の割れ
- 4 表紙・裏表紙のはがれ・めくれ
- 5 コーナー部分の破損
- 6 レコードを出し入れする開口部縁の傷み（フワフワ化）

次は補修用品です：

- 1 中性洗剤&ふきん、漂白剤
- 2 スティック糊、木工ボンド（白ボンド）
- 3 爪楊枝、綿棒
- 4 NICHIBAN 透明カバーフィルム CF-400R（350mm×2m）  
（あらかじめ2cm幅に切っておくとよいでしょう）
- 5 シリコンスプレー

補修の手順：

- 1 まずはクリーニング
  - (1) ふきんでジャケット全体を拭きます。軽い汚れはこれで大体落ちます。  
必要があれば中性洗剤を使用します。
  - (2) ジャケットに茶色いシミがある場合、その部分に綿棒で漂白剤を付着させます。
  - (3) 稀にですが、油染みがある場合、中性洗剤と漂白剤を使います。
- 2 補修
  - (1) 背表紙の割れ・はがれには爪楊枝の先に適量のスティック糊を付着させて対処します。
  - (2) ジャケット上部・下部の割れには上記透明カバーフィルムを適当な長さに切って貼り付けます。
  - (3) 表紙・裏表紙のはがれ・めくれにはやはり爪楊枝の先にスティック糊を付着させて対処します。

- (4) コーナー部分の破損については木工ボンドと爪楊枝で対処します。木工ボンドは固化すると白色から透明になるので具合がよいのです。  
必要なら透明カバーフィルムも使います。
- (5) レコードを出し入れする開口部縁の傷みについては透明カバーフィルムを貼ります。

### 3 最後は「仕上げ」です

ティッシュペーパーにシリコンスプレーを吹き付けてジャケット全体にごく薄いシリコンの膜を付けます。

ただしシリコンスプレーには有機溶剤が含まれていますので、あまり強くこするとジャケットの印刷インクが溶け出します。そうならないように注意します。

以上ですが、こうした補修をしておくとも長期間に亘ってジャケットの劣化を防ぐことが出来て安心です。

また見た目もよくなるので、レコード再生が楽しくなります。

以上